

番号	テーマ名	事業概要	特記事項		担当課室厚生局
			金額	特記条件	
【在宅サービス】					
9【在宅サービス】介護系サービス					
1	国内における通信機能を備えた福祉用具の効果の実態把握等に関する調査研究	○ 介護保険福祉用具・住宅改修評価検討会において「通信機能を備えた福祉用具」について一定の機能を新たに給付対象とする 方向性がとりまとめられ、第247回社会保障審議会介護給付費分科会で報告されたところであるが、通信機能を備えた福祉用具の機器の効果や市場規模等は明らかとなっていない。 ○ このため、有識者の検討会を開催し、GPS付き認知症老人徘徊感知機器をはじめとする通信機能を備えた機器の仕様、価格、効果、市場規模、活用の実態や、今後の開発及び活用の見込み等に関するレビューや開発企業を対象としたヒアリング調査等を行う。 ○ なお、調査対象は、分離型として現在給付対象となっており、今後、内蔵型への移行が見込まれる「認知症老人徘徊感知機器」及び令和6年度に改定された「介護テクノロジー利用の重点分野」のうち「見守り・コミュニケーション(在宅・施設)」に該当する機器とし、これらに関する今後の動向から財政影響等を考察する。	特記事項なし	○ 公益財団法人テクノエイド協会が運営する「福祉用具情報システム」に登録されている機器を優先的に調査することとする。なお、ヒアリング調査の対象を福祉用具情報システムに登録された機器の実績が多数である企業に絞るなど、調査対象数を限定することは差し支えない。	高齢者支援課